

令和2年度 自己評価

1、本園の教育目標

幼児期の教育が生涯にわたる人間形成の基礎を培う大切なものであることを踏まえて、本園は、キリストの愛の精神に基づいて、心情豊かな子どもを育成するために神の子として、祈る心、愛する心、感謝する心を育てる。また、家庭と地域との連携を計りながら、人々に貢献することのできる人間の基礎を育てる事を目標とする。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

今年度の重点目標は「どの子ども伸び伸びと活動する場を保障し、自己実現できる子を育てる」のサブテーマとして「自分の思いを伝える」を加えた。また、評価項目に沿って自己点検、自己評価をすることによって、教師、自らが教育内容の改善に主体的に取り組み、教師どうしの共通理解を計っていくことを重点項目とする。さらに昨年度の反省を踏まえ地域への発信にも積極的に取り組んで行きたい。

3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
幼稚園の教育課程の編成・実施に関して教職員間の共通理解をはかる。	新幼稚園教育要領の理解を深め、推進していく中で実際に保育に生かされているかどうかを確認し合いながらそのつど具体的に話し合うように努めている。
教育要領、教育課程は子どもの実態をふまえて作成している。	毎年、年間計画について確認し、子どもの実態に即した内容にするよう努めている。年度始めに教育目標について話し合い学年別に統一し全職員が共通認識をもって取り組んでいる。10の姿について研修を重ねる。
教育の質の向上のために、園内研修を充実させ、教諭の資質向上をはかる。	積極的に研修会に参加し、研修会で学んだ事を持ち帰り職員会で報告を行い日々の保育に生かす。子どもの様子を全職員が理解をするために報告し合いどの子どもにも関わられるようお互いにアドバイスをしあえる体制をとっている。また、研修として保育公開をすることで指導力を高めていきたい。

<p>園だよりや学級便り、個人懇談会やクラス懇談会などを通して園の情報を発信し、保護者の要望に適切な対応をはかる。</p> <p>就学時前に地域の小学校との連絡を密にし、子ども理解を深める。</p>	<p>母の会役員（保護者）との話し合いを充分にしながら共に協力し合い取り組む。また、1学期にクラス懇談会を実施し担任、保護者同士の交流を深める。その中で園への要望があれば職員会で話し合い検討し、園の方針を出すように努める。専門講師による英語指導、硬筆指導、茶道指導、歌唱指導を行い情操教育の一つとして能力を引き出している。今年度も、歌唱発表の場を設け子ども達への評価をもらうことで自信につなげたい。</p> <p>年間、1回のコーナー保育では保護者の協力を得て子ども達が喜ぶコーナーを設定し全園児が縦割り形で参加して交流している。年長児は校区内の小学校との交流を年間、2回から3回行っている。一年生の児童の授業参観・懇談会に参加している。引継ぎも丁寧におこなっている。</p>
<p>規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。</p>	<p>登園から降園までの生活の中で、一つひとつを理解させながら、身につけさせるようにしている。お当番になった子どもはしっかり挨拶が出来るまで練習をし、大きな声で挨拶が出来るよう指導をしている。手洗い、うがいの励行は一年中行い感染症対策に力を入れている。手洗い後のハンカチ使用は習慣づけている。</p>
<p>地域の関わり、連携の強化をはかる。地域の子育て支援として園庭を開放している。</p>	<p>未就園児と保護者の方を月に一度園庭を開放しミニ保育を行い子育て支援をしている。また、親と子ども同士の交流の場を提供する。親子登園未就園児プチエンジェルクラスを作り、月3回の割で実施しスムーズに入園できるように支援している。</p> <p>今年度も地域のボランティア「お話の会」の方からお話を聞く時間を年間3回設定した。絵本等を自由に読めるよう絵本室を設けている。</p> <p>岬町孝子地区に自然の森が有り、地域のボランティアの方とともに自然を利用した施設で遊びながら園では経験できない地域の良さを気づかせる。人と自然に感謝する気持ちを持たせたい。</p> <p>課外としてサッカークラブ・ジャズダンス・習字・ピアノ教室・英会話教室を開き、広く地域の子ども達に入って頂き、教育の場を提供している。ジャズダンスは年に一度、発表している。年長児・年中児にボランティア</p>

	の方に書き方指導をして頂き、文字に関心興味をもたせるようにしている。
子どもの良さを認めて評価している。	一人一人の子どもの良さを見つけ、認めることでその子の自尊感情を高めるように心掛けている。特に行事に向けての練習中、出来るようになった事を褒め認めている。
安全対策について	防犯、防火、防災訓練を年間5回実施する。 本年度も消防署の指導を受けた。職員全員が消火訓練を受けて防火意識を高めた。訓練と指導によって通報、消火、避難の徹底をはかる。また、不審者対応についての訓練も行う。地震による津波の際、近くのゴルフ場を避難場所とし、実際に避難場所まで歩いて避難訓練をしている。月に1回訓練を予定している。
恵まれた自然環境に親しませるために自然に触れあう機会を増やす。	戸外への散歩は各学年に応じて取り入れている。海や山に囲まれている環境を子ども達に知らせ、住んでいる町を大切に思う気持ちを育てる。
食育についての指導をする。	地域の方の協力で、トマト・ジャガイモ・さつまいも・いちごなどのお世話を頂き、収穫の喜びを体験し、それぞれを調理していただく。給食ではアレルギー対応をしっかり行い、献立の改善について業者の方との懇談をもち、よりよい食育を目指している。また、月4回、子ども達の希望を取り入れパン給食を実施している。
伝染病に備えて衛生状況を改善する。	毎日の保育の中で、うがい、手洗いの励行を促し習慣化している。年少児の部屋に空気清浄機を設置し、園内の出入口に消毒液を置いた。バスの消毒も毎日行う。 インフルエンザ対策として研修会に参加し、さらなる職員の意識を高め強化をはかる。コロナウイルス感染予防に努め保護者と共に予防対策を今後も行って行く。 各部屋に雑菌除去機能のついた冷房を完備した。
園児募集について	幼児減少傾向が年々進み、昨年にも増して園庭開放のお知らせチラシを数回にわたりポストインに力を入れている。チラシを見ての問い合わせもある。 入園説明会を希望に応じ、随時行い、その都度願書配布を行う予定である。今年度も広範囲にわたり、チラシをポストインしている。 満3歳児クラスのクラスを2学期から実施し、子どもの

	<p>成長に合わせた保育を行い、園児獲得に繋げたい。 未就園児のクラス（プチエンジェル）入園に力を入れ、 本年度も子ども達が入園してくれている。</p>
情報の発信と受信	<p>日々の保育の様子を HP 上に載せ、公開することで開かれた保育に力を入れている。個人の様子は連絡帳や電話、時には家庭訪問をしながら保護者との連携を密にしながら子どもへの理解を深めている。4月から緊急メール配信を実施し、感染に関する情報に大変、役に立っている。</p>